


<b>メキシコ合衆国</b>			首都	メキシコシティ
 <p>緑・白・赤は諸州の独立、宗教、統一の3つの保証を示し、中央の鷲は国章で、首都建設の伝説を表している。</p> <p>独立：1821/9/27 スペインより 国連加盟：1945/11/7 政体：連邦共和制</p>		国 の 概 要	国土	面積 195万8,000km <sup>2</sup> (日本の52倍) 北米大陸南部に位置する高原の国で、全土の3分の1は東西のシエラマドレ山脈に挟まれた平均高度1,700mのメキシコ高原で、横断火山帯が走り、地震も多い。平野はアメリカ国境のリオグランデ川下流部とユカタン半島にみられる程度である。太平洋岸にはカリフォルニア湾をはさんで低平な高原状のカリフォルニア半島が本土に並行して伸びている。
			人口	1億700万人
			言語	スペイン語 (公用語)
			通貨	ペソ
			気候	北部は高温乾燥の砂漠気候、東西の海岸は熱帯サバナ気候、中央高原はステップ気候、ユカタン半島には熱帯雨林気候もみられる。5～11月が雨季で、メキシコ湾岸は特に高温多湿になる。
			民族	メスティーソ (白人とインディオの混血) 55%、インディオ 30%、ヨーロッパ系 (スペイン人) 15%
			宗教	カトリック 89%、プロテスタント 6%
教 育 制 度 の 概 要	学校体系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園 (3ヵ月半～)、幼稚園 (3歳～5歳)、小学校6年間 (6歳～12歳⇒ (最大は14歳)、中学校3年間 (13歳～15歳)、高等学校3年間、専門学校2～5年間、大学4～6年である。</li> </ul>		
	義務教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・義務教育は幼稚園最終学年 (5歳)、小学校1年生～中学校3年生 (15歳) までの10年間である。</li> <li>・その年の8月31日までに満6歳になる者はその年の9月1日に義務教育の第1学年に入学する。</li> <li>・義務教育は完全保障で、授業料・教科書代も家庭の負担はない。</li> </ul>		
	日本と比較した教育課程上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校年度は年度によって多少違うが、8月18日～翌年の6月30日までとしている。</li> <li>・2学期制をとっており、1学期は8月中旬から1月下旬、2学期は1月下旬から6月下旬になっている。</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校から1年ごとに、合格したら進級できる。</li> <li>・授業は午前と午後の2部制が一般的である。小学校では、午前の部（8：00～13：30）、午後の部（14：00～18：30）、中学校では、午前の部（7：00～14：45）、午後の部（14：00～19：30）である。</li> <li>・各学校は、学習指導要領にしたがって授業が進められ、進度・内容・時間配分は教科書に準じて担任教師に任かされている。</li> <li>・小学校ではスペイン語・算数・歴史・公民・自然科学・体育・芸術・技術科の8教科が履修される。</li> <li>・中学校ではさらに地理・生物・化学・物理・数学・教育概論・外国語が加わる。</li> <li>・一般に家庭学習の比重もかなり大きく、各家庭の教育への関心も強く求められている。</li> <li>・中学校で、3年間の選択の授業は現場での実習・体験活動である。</li> </ul>
義務教育後の教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通高等学校、職業訓練校、専門学校（ただし、カレッジ的な性格の学校）などがある。普通高等学校は義務教育の延長線上に位置づけられるのではなく、大学進学のための準備的色彩が強い。よって、大学進学基準は大学の検定基準に準拠し、大学の提示した教育課程内容を高等学校3年間に履修することになる。職業訓練校は広く全国に分布し、多くの州政府が力を入れている学校である。専門学校の一種として、同様に週の主導で師範学校も数多く存在する。</li> </ul>
就学前教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教育は文部省の認定では3年間(3、4、5歳児)であり、幼稚園最終学年は義務教育となっている。公立幼稚園もあるが私立幼稚園が中心となっている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・父母の経済的問題、設備や教員の補充などにかかわる経済的な問題から十分な教育を受けられずに中途退学する者も多く見られる。</li> <li>・公立と私立では教育体系が違う。</li> </ul>
休業期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休業は7月1日～8月17日、冬季休業は12月18日～1月2か3日頃の2週間、春季休業は3月に2週間ある。</li> </ul>
学級担任制、教科担任制等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校は学級担任制で、中学校は教科担任制で教師が教室に来て授業する。ホームルーム担任はいる。</li> </ul>
飛び級、落第の有無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛び級は小学校からあり、担任が保護者と相談して決める。</li> </ul>

学 校 生 活		<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は厳しく、落第は小学校からある。2回だけ留年することができる。</li> </ul>
	教育内容の差異	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体としてのクラブ活動はあり、バスケットボール、バレーボール、サッカー等のスポーツを行うことが増えている。水泳指導はない。</li> <li>・中学校教育の授業はテレビで放送して、講習を受けて合格する。</li> </ul>
	学校行事の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週月曜日に愛国心を表すセレモニーを行う。</li> </ul>
	給食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・義務教育の学校では、給食はほとんどない。但し多くの公立小学校では午前・午後・夜間の3部制の授業を行っていることもあり、その子どもたちのために簡易食堂が設けられている。スナックやサンドイッチを休憩時間に食べる。</li> <li>・中学校でも簡易食堂や売店が設けられているところが多い。</li> </ul>
	チャイムや号令	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての授業の切れ目にチャイムが鳴らされる。</li> <li>・号令はセレモニーのとき以外はない。</li> </ul>
	教室における行動様式等の違い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちは掃除をしない。掃除をする人を雇っている。</li> </ul>
	校則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校ともに制服があり、黒い靴をはく。かばんは指定がない。</li> <li>・学校の門は常に閉めてあり、生徒が出入りするときのみ開ける。</li> </ul>
	保護者の授業参観、保護者会、PTA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観はあまりない。</li> <li>・保護者の集まりがあり、イベントの開催、フェスティバルの準備をする等が行われる。</li> <li>・学校・家庭間の連絡・情報交換も各担任に任せられることが多く、教育学習上の問題などが生じた場合、父母を学校に呼ぶことが一般的に行われている。</li> </ul>
	子どもの一日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6時半か7時頃起床し、午前中は学校に行き、帰宅後昼食をとり、8時頃夕食、10時頃寝る。</li> <li>・放課後は宿題やクラブ活動に励む。家ではテレビをみたり、ゲームをしたりする。安全な地域では外で遊ぶこともある。週末の金曜日や土曜日は、夜9時ごろから明け方5時ごろまで友達とパーティーを楽しむこともある。</li> <li>・共働きの家庭が多く、祖父母が子どもの面倒をみたり、お手伝いさんを雇ったりしている。</li> <li>・一般的に生徒たちは両親に付き添われて通学する。</li> </ul>

生活 習慣 等	言葉の指導面の留意事項	・日本語の学習では、「ツ」と「ス」と「チュ」の区別がつかない、「シ」と「チ」の区別がつかない、「ヤ行」と「ジャ行」が混同する、「ハ行」の子音が脱落してしまうことがある。
	宗教上の忌避事項	・月曜日はいつも集会で国旗に向かって敬意を表する習慣があるが、宗教上の理由でやらない子どももいる。
	食生活	・肉が中心で、ソーダをよく飲む。朝食は牛乳、パン、卵、2時～4時が昼休みで、ランチはしっかり食べ、夜はサンドイッチとコーヒーなどで軽く済ませる。
	衣服住居の違い	・一日の気温の変化が激しいため、長袖の人と半袖の人が同時にいることは珍しくない。
	交通規則の違い	・車は右側通行である。

<参考資料>

- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・世界の学校を見てみよう！（キッズ外務省）・・・・・・・・外務省
- ・諸外国の学校情報・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・ジュニア世界の国旗図鑑・・・・・・・・・・・・・・・・平凡社
- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・アトラス
- ・日本語指導教材の開発・・・・・・・・・・・・・・・・井上恵子
- ・日本語指導教員より
- ・メキシコ人より